

## 諏訪大社四社めぐり

諏訪大社は諏訪湖を囲むように上社前宮(かみしゃまえみや)・本宮(ほんみや)、下社春宮(しもしゃはるみや)・秋宮(あきみや)の4社からなる珍しい神社です。創建は古く、古事記の国譲り神話にまでさかのぼり、最も古い神社のひとつとされています。中でも本宮、春宮、秋宮は本殿を持たず、自然そのものをご神体とする古来からの信仰の姿を現在に伝えていきます。

この諏訪大社4社はそれぞれに4本の御柱(おんばしら)が建立されています。

それぞれに違った魅力があり、4社を順に巡る「四社めぐり」が人気を集めています。

四社めぐりは、特に回る順番は決められてはいません。1社目で御朱印帳を購入し、それぞれの場所で御朱印をいただき、四社めぐりを完遂したら、最後に訪れた社務所(しゃむしよ)で「四社めぐりの記念品をいただきたい」と伝えてください。この時にこれまでいただいた3社分を見せると記念品を受け取ることができます。

それでは、4社をご紹介します。

### ～諏訪大社上社前宮～

諏訪大社4社の中で本殿があるのはここだけです。また建立されている御柱を4本とも近くで見ることができる唯一のお宮です。

御朱印は、参道途中にある社務所でいただくことができます。

### ～諏訪大社上社本宮～

北参道の大鳥居をくぐって左手に手水舎(てみずしゃ)、右手に御朱印の授与所があります。ここには温泉の手水もあります。本宮は本殿をもたないため幣拝殿(へいはいでん)に向かって参拝をします。ご神体は、背後にある神体山(しんたいさん)です。

### ～諏訪大社下社秋宮～

正面の大鳥居と神楽殿の狛犬は青銅製です。この狛犬は青銅製としては日本一の大きさといわれています。

秋宮の御朱印の授与所は参道脇の一段下がったところにあります。

### ～諏訪大社下社春宮～

鳥居をくぐり右側に御朱印をいただく社務所があります。春宮の参道途中には屋根付きの太鼓橋、下馬橋(げばばし)が残っています。この橋は下社の建物の中では一番古い建物だそうです。

御朱印は、開運やご利益を得るためのものではなく、「参拝の証」として授かるものです。まず神仏への参拝を済ませ、御朱印をいただきましょう。いただくまでの間は、私語を慎み静かに待つようにしましょう。

また御朱印は「神仏とのご縁の記録」なので、大切に保管しましょう。処分をする際は、お寺や神社でお焚き上げをしてもらいましょう。